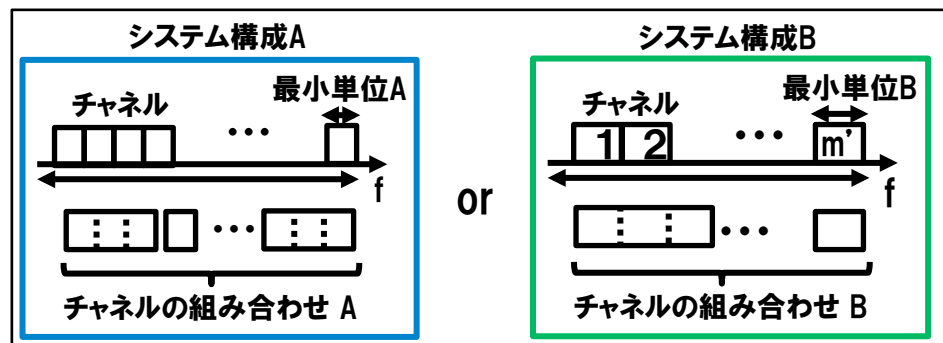


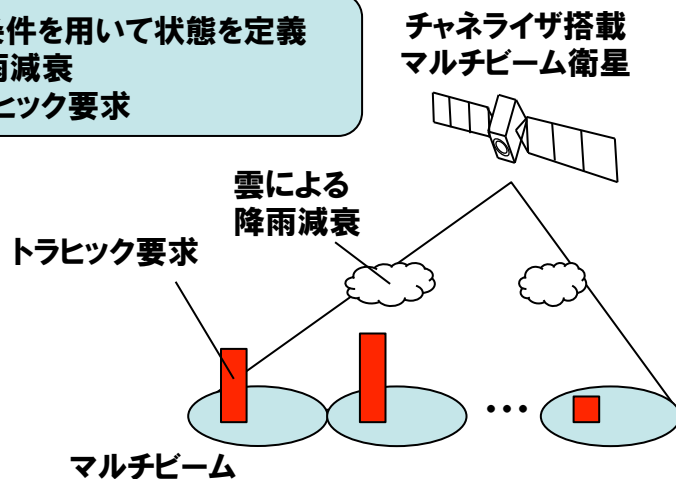
ニーズに合わせて通信容量や利用地域を柔軟に変更可能なハイスループット衛星通信システム技術の研究開発

次世代衛星通信システムでは、その要求条件やシステムを取り巻く環境が変化しても、柔軟に通信リソースを配分し、高い性能を維持することが求められている。そのため、柔軟にリソース配分変更可能なフレキシビリティ化技術として、デジタルチャネライザやデジタルビームフォーミングの技術開発が進められている。本研究開発では、ユーザからの要求や降雨減衰による回線品質の低下等の環境の変化に応じた衛星通信システムの性能を定量評価できるモデル構築を行う。

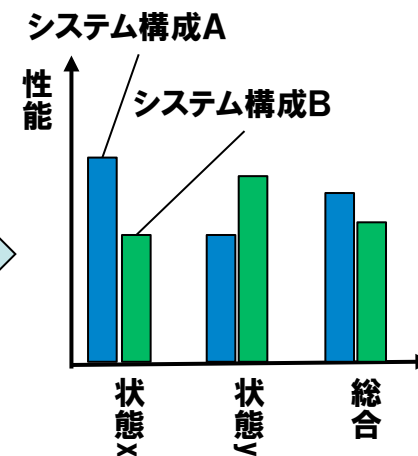


システム構成の優劣を判別可能な解析モデルが存在しない

- 変動条件を用いて状態を定義
- ・ 降雨減衰
 - ・ トラフィック要求



状態変化の中で評価



衛星通信システムの周波数フレキシビリティ解析モデルの概要図